

乳房画像分科会活動報告

さいたま赤十字病院
代表世話人 尾形智幸

今期の乳房画像分科会活動として、デジタルマンモグラフィと題して CR・FPD それぞれの施設の紹介を HP 原稿として寄稿しました。内容的には充実したものと思っています。来年度も HP を中心に日本赤十字放射線技師会の皆様とフレッシュな情報を共有していきたいと思っています。

長浜赤十字病院	西関 剛	(世話人)
京都第二赤十字病院	梶迫 絵美	(世話人)
大森赤十字病院	出井 愛子	(世話人)
さいたま赤十字病院	尾形 智幸	(代表世話人)

よろしくお願いたします。

核医学分科会活動報告

旭川赤十字病院
医療技術部 放射線科 荻野真博

核医学分科会として今年度報告できる具体的活動は特になかったことについて会員の皆様にお詫びいたします。

他役員の皆様が活発に活動されている中、私の企画不足、力不足と、地域の離れた世話人3名における密な連携の難しさを痛感しております。

来年度以降、世話人が交代となりますが、後任の先生方には今より一歩でも二歩でも進んだ企画を期待したいと考えております。

平成24年度治療分科会事業報告

長野赤十字病院
放射線治療品質管理係長 小山登美夫

治療分科会ではホームページに記事を掲載することで事業を進める予定でしたが、あまり積極的な活動は実施できず投稿記事は1件のみでした。投稿内容は標準計測法12の概要であり、治療業務において非常に重要な内容で、会員への情報提供としては良い内容だったと考えています。

来年度もホームページを中心とした活動となりますが、会員の皆様から積極的な投稿をしていただくよう活動していきたいと考えています。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。